

【音楽科提案】

# 未来に生きて働く探究力と省察性の育成

## 音楽科の本質

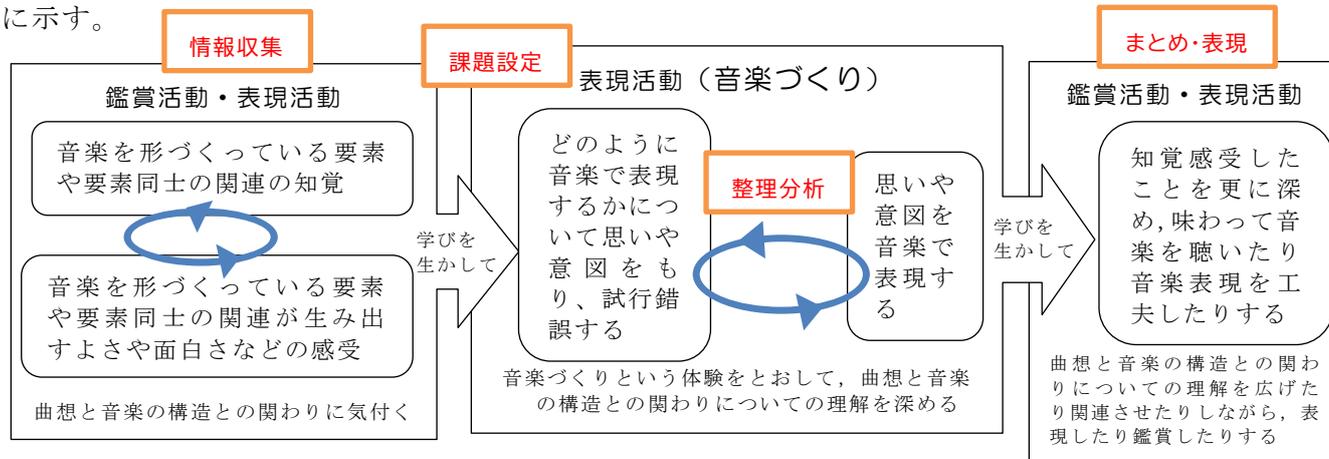
音楽科は生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する教科である。この資質・能力を育成することによって、音や音楽との関わりを自ら築き、心豊かな生活を営むことのできる人を育てる。資質・能力を育成するためには、多様な音楽を幅広く体験し、音楽に対する感性を働かせ、生活や社会の音や音楽との関わりを実感できるようにする。知識と感性を同時に働かせながら、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情を生活や文化と関連付けることを大切に指導していく必要がある。

## 音楽科の目標及び育みたい探究力と省察性、見方・考え方

<b>音楽における育みたい探究力</b>	音楽的な見方・考え方を働かせながら、目の前の道の問題に対して、探究のプロセスをとおして、解決に取り組む資質・能力
<b>音楽科における育みたい省察性</b>	音楽的な見方・考え方を働かせながら、自らの探究において学びの方法や道筋を調整・改善したり、学びを意味づけたり、学んだことを自己の生活や行動につなげたりする資質・能力
<b>音楽的な見方・考え方</b>	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること

## 音楽科【音楽づくり領域】における探究のプロセスをとおした学びのイメージ（単元）

本年度実践する、鑑賞や表現（歌唱・器楽）と関連させた音楽づくりにおける学びのイメージを以下に示す。



## 探究力と省察性を育む指導

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するためには、創意工夫をした音楽表現をすべく探究する「探究力」と自らの探究を調整・改善しながら進めるための「省察性」を育む必要がある。今年度は、以下のようなしかけを行うことで探究する子どもの姿をめざす。

- 【主体】子どもの生活に密着した課題づくりや音楽づくりの素材選び
- 【協働】ペアやグループで音楽をつくる際の役割設定
- 【活用】カリキュラム・デザイン、表現と鑑賞を結び付けた題材構成、教室掲示の工夫
- 【省察】単元を通じた振り返りの充実、学びの足跡「音楽学びマップ」の作成、タブレットの録音・録画機能の活用、つくった音楽の可視化

## 研究の評価

研究内容に基づいて取り組んだ授業実践の中での子どもの言葉や表現する音そのものをもとに、研究の成果と課題を明らかにする。

授業での子どもの言葉、ワークシートへの記述、演奏等、子どもの表現物を用いた質的評価、アンケート調査による量的評価を行う。